

種名と配列に関わる解説等（半索動物門）

○目録の解説

半索動物門においては、科以上の上位分類群を独立した見出し行として記入した。また、それら上位分類群すべてに対し、学名とその命名者・年を記入した。

分類体系は Cannon *et al.* (2014) に従い、学名とその命名者・年はインターネット上のデータベースである WoRMS Editorial Board (2019) に準拠した。

岡山県野生生物目録 2009 ではこの門の種は掲載されておらず、今回 2 種が新規追加された。新規追加種は下記文献の記録による。

半索動物門の目録作成は協力員の田中正敦（鹿児島大学大学院理工学研究科）と多留聖典（東邦大学東京湾生態系研究センター）が担当し、本解説は田中正敦が作成した。

○主な参考文献

Cannon, J.T., Kocot, K.M., Waits, D.S., Weese, D.A., Swalla, B.J., Santos, S.R. & Halanych, K.M., 2014.

Phylogenomic resolution of the hemichordate and echinoderm clade. *Current Biology*, **24**: 2827–2832.
環境庁自然保護局（編），1998. 第 5 回自然環境保全基礎調査 海辺調査 データ編. 環境庁自然保護局，東京.

水戸 鼓, 2001. 貧乏虫現る！—ハネナシギボシムシの発生—. *水試だより*, (266): 2–3.

岡山大学理学部附属玉野臨海実験所, 1978. 備讃瀬戸海域の生物相と主要実験動物の研究. In 国立大学臨海臨湖実験所長会議（編），*臨海・臨湖実験所周辺の生物相および主要実験生物に関する研究（昭和 50–52 年度文部省科学研究費補助金総合研究 A 研究成果報告）*, 158–170. 国立大学臨海臨湖実験所長会議，福岡.

岡山大学理学部附属牛窓臨海実験所, 刊行年不詳. *海産動物実習手引 第 4 版*. 岡山大学理学部附属牛窓臨海実験所，牛窓.

著者不詳, 1975. 岡山大学玉野臨海実験所. In 全国臨海臨湖実験所長会議（編），*臨海・臨湖実験所周辺の生物相および主要実験生物に関する研究（昭和 49 年度科学研究費総合研究 B 研究成果）*, 59–63. 全国臨海臨湖実験所長会議，福岡.

WoRMS Editorial Board, 2019. *World Register of Marine Species*. <http://www.marinespecies.org> (2019 年 2 月 22 日閲覧)

番号	和名	学名	生息状況				生息環境区分等	岡山県版 レッドデータブック2020	環境省 レッドリスト2019	備考
			北	中	南	海				
半索動物門 Phylum HEMICHORDATA Bateson, 1885										
腸鳃綱 Class ENTEROPNEUSTA Gegenbaur, 1870										
ハネナシギボシムシ科 Family SPENGELIDAE Willey, 1899										
1	ハネナシギボシムシ	<i>Glandiceps hacksii</i> Marion, 1885	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
ギボシムシ科 Family PTYCHODERIDAE Spengel, 1893										
2	ミサキギボシムシ	<i>Balanoglossus misakiensis</i> Kuwano, 1902	—	—	—	?	潮間帯～潮下帯砂泥底	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	